

研究活動一覧

本学の教員は東日本大震災以降、震災に関係した調査・研究活動を活発化した。震災に関する研究をはじめ、数々の成果を上げている。

■活動内容1 震災後、震災あるいは復興に関連した「研究」・「教育」・「社会貢献」

所属	氏名	内容
理工学部	足立 岳志	・復興共生プロジェクト(社会貢献)平成24年11月復興共生プロジェクト(社会貢献)(H24年3月)
理工学部	阿部 知顕	・環境省除染研究プロジェクト(高崎みつるグループの分担)(H24年4月～)
理工学部	綾 皓二郎	・[石巻専修大学・東日本大震災デジタルアーカイブ制作のための調査研究](H23年7月～H24年3月)
理工学部	恵原 貴志	・小規模風力発電装置の緊急時電源としての実地運用(外部資金による研究)(平成23年12月～) ・[災害時のエネルギー源としての水素燃料電池の試験運用](共創研究センタープロジェクト)(平成24年6月～)
理工学部	尾池 守	・復興共生プロジェクト事業 石巻専修大学の防災能力の強化[自立可搬式浄水ミニプラントの開発](研究・教育)(H24年1月～)
理工学部	太田 尚志	・東北マリンサイエンス拠点形成事業(海洋生態系の調査研究)(H24年1月～) ・東北復興次世代エネルギー研究開発プロジェクト[東北復興のためのグリーンエネルギー研究開発推進事業](研究)(H24年7月～) ・総合科目(高大接続科目)で出前授業[演題:海の生態系に何が起こったか](教育)(H24年11月)
理工学部	大谷 尚文	・[遊びを通して地域がつながる～こどもの遊び場づくりと地域づくり](共創研究センタープロジェクト事業)(H24年6月～平成25年6月)
理工学部	角田 出	・農地汚染把握及び浄化に係わる研究(研究・社会貢献)(H24年4月～) ・東北バイオ教育プロジェクト(株式会社リバネス、協和発酵キリン株式会社)宮城県水産高等学校向けの研究連携先(教育、社会貢献)(H24年9月)
理工学部	亀谷 裕敬	・利府町で災害ボランティア(H23年3月)
理工学部	川村 暁	・岡野知子,川村 暁,会計教育用教材開発の予備的試み—iPad等可搬型IT機器を指向した—石巻専修大学研究紀要,第23号,pp.1-10,(H24年3月) ・綾皓二郎,川村 暁,災害時における支援拠点としての学校,および震災と原発事故から学ぶ情報教育の在り方,情報教育資料,実教出版,第32号pp.1-7.(H24年) ・自由論題報告(3) 岡野知子(石巻専修大学経営学部)・川村暁(石巻専修大学理工学部) [可搬型ITデバイスを活用した簿記・会計教育の試み—東日本大震災直後に対応した会計教育法の一例として—]日本会計教育学会第3回全国大会(H23年9月) ・[石巻専修大学・東日本大震災デジタルアーカイブ制作のための調査研究](H23年7月～H24年3月) ・震災後の特異な学習環境克服を指向した可搬型IT機器による会計学基礎学習とその効果,川村、岡野平成23年度教育改革ICT戦略大会資料(私立大学情報教育協会)No.D-4,pp.196-197(H23年9月)
理工学部	工藤 すばる	・3Dプリンタ活用による石巻市沿岸部の復元立体模型の製作に関する研究 研究代表者:益満 環,研究分担者:工藤すばる(財団法人前川報恩会研究助成)(H23年～H24年) ・石巻地域における東日本大震災後の教育および教育支援に関する調査研究 研究代表者:根本 泉,研究分担者:工藤すばる(石巻専修大学共創研究センター研究プロジェクト)(H23年) ・ポスター展示(屋上から見た復興への歩み)平成23年度共創研究センターシンポジウム(H24年3月)
理工学部	坂田 隆	震災に関する講演/取材対応 ・復興共生プロジェクトによる家政学会との共同研究(H23年5月～) ・学外との連携の調整(H23年3月～) ・中央教育審議会教育振興基本計画部会に私立大学・短期大学を代表して報告(H23年7月) ・(株)スイシン宮城 仙台富県チャレンジ応援事業助成金申請外部協力者(H24年11月) ・科研費基盤研究B[東日本大震災後のコミュニティの生活再建プロセスにみる課題解決の方法](H24年4月～)
理工学部	佐々木 洋	・東北復興次世代エネルギー開発プロジェクト、「EMS制御複合型微細藻バイオマス生産システムの開発」に関する研究(H24年～H28年)
理工学部	佐々木 慶文	・宮城県民大学で講演[演題:インターネットとモバイル機器の魅力を再考する～日常的な活用から教育まで～](H24年6月) ・東北復興次世代エネルギー研究開発、エネルギー&モビリティ統合インターフェースの研究開発、代表:若月教授
理工学部	島田 了八	・石巻地区タクシー事業適正化・活性化協議会会長(被災地視察コースの設定、仮設住宅のオンデマンドタクシーの区域拡大)(H24年3月・9月) ・石巻市環境審議会会長(復興に向けた石巻環境基本計画のあり方)(H24年6月)

研究活動一覽

所属	氏名	内 容
理工学部	鈴木 英勝	・平成24年度石巻専修大学研究助成(共同)未流通品を中心とした地域水産物の栄養成分、価値形成、流通適用性に関する基礎的検討 ・平成24年～26年科学研究費補助金(基盤C)(共同)未利用資源を対象とした一次産品の有用性と流通の可能性に関する実証的考察(代表者石原慎士の分担)
理工学部	相馬 弘年	・復興共生プロジェクト事業の推進(H23年3月～)
理工学部	高崎 みつる	・環境省除染研究プロジェクト「放射能汚染土壌の飛散防止・洗浄・固化を行う生物処理実用システムの開発」環境研究総合推進費(名古屋大分担)(H24年4月～) ・環境省除染研究プロジェクト「枝葉・樹皮等からのセシウム脱離・吸着」環境研究総合推進費(東大分担)(H24年4月～) ・「海砂(浚渫土砂)の有効利用のための除塩技術の開発」東北建設協会・国交省(H24年)
理工学部	高津 宣夫	・共創研究センタープロジェクト事業(研究プロジェクト)への参加(H24年6月～)
理工学部	高橋 智	・石巻沿岸部の復元立体模型の製作(H23年～)
理工学部	玉置 仁	・震災後の藻場調査(研究;東北水研との合同調査)(H23年6月～) ・津波により被害を受けた三陸沿岸の浅海域生態系の現状とその回復(研究;2011年度鉄鋼環境基金)(H23年11月～) ・日本水環境学会震災対応活動(研究;湿地・沿岸域に関係するテーマ)(平成23年12月～) ・藻場・干潟が震災により受けたダメージとその回復、および後背地の津波堆積物の特性(研究;科研費若手B)(H24年4月～) ・地震・津波による生態系攪乱とその後の回復過程(研究;東北マリンサイエンス拠点形成事業)(H24年4月～) ・東北地方太平洋沿岸地域自然環境調査生態系監視調査(研究;環境省)(H24年4月～) ・津波により被害を受けた三陸沿岸の浅海域生態系の現状とその回復(継続)(研究;2012年度鉄鋼環境基金)(H24年11月～)
理工学部	中込 真二	・石巻専修大学に設置予定の風力発電装置に関連し、科学技術振興機構(JST)復興促進プログラム、マッチング促進(タイプI)にH24年9月に申請した。課題名「次世代小型風力発電機の実地試験研究」(H24年～平成27年)
理工学部	根本 泉	・学内避難所における絵本の提供および読み聞かせを中心とする子ども支援(社会貢献)(H23年4月～)(4月末まで)
理工学部	根本 智行	・石巻専修大学競争研究センター研究プロジェクト「放射能の長期モニタリングに適した生物の検討」(研究)(H24年4月～)
理工学部	依田 清胤	・北上高校高大接続事業「震災・復興・まちづくり」世話役(教育)(H24年5月～)
理工学部	羽田 紘一	・「大震災から未来へ」世界のポスター展。本学図書館企画(日本国際ポスター美術館と共催)(社会貢献)(H24年4月)
理工学部	廣瀬 裕作	*平成24年 ・「石巻専修大学における復興共生プロジェクト推進のためのセンター的機能整備事業」 ・復興に関連した情報の発信「東日本大震災報告書」ワーキング・グループ(代表 大津幸一 経営学部教授) ・「共創研究センター・サテライトキャンパス企画」 ・遊びを通して地域がつながる～こどもの遊び場づくりと地域づくり(代表 大谷尚文 理工学部教授)
理工学部	福島 美智子	・石巻地域の農水産業分野への放射線測定による支援およびそれに関するセミナー実施。 ・研究テーマとして「石巻地域を中心に環境放射能測定、水産養殖物の放射能モニタリング」 ・卒業研究テーマ「江合川および北上川の放射能測定」 ・担当する講義のなかで放射線および放射線測定に関する教育等
理工学部	前田 敏輝	・復興共生プロジェクト事業(水産加工業復興支援)(H23年7月～)
理工学部	山内 武巳	・石巻地域の仮設住宅住民、被災住民を対象とした健康教室の開催(H23年9月～現在)
理工学部	山崎 省一	・エコノミー症候群予防体操指導(避難所訪問)、仮設住宅にて運動指導(H23年3月～H24年10月) ・NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンタ、NPO法人石巻体育協会サポート支援活動(H24月～現在) ・全国大学体育連合と合同企画による被災地視察と研修会を開催(H23年6月) ・被災地復興イベント「ナターシャ・グジーコンサート」を仙台にて開催(H23年11月、H24年6月) ・被災地における災害ボランティア実践活動の企画と実地(H24年8、9月) ・被災地復興イベント「書と太鼓」を釜石市で開催(H24年11月)
理工学部	山崎 達也	・平成23年度 「復興共生プロジェクト事業:石巻専修大学震災報告書」ワーキンググループ ・平成24年度 「復興共生プロジェクト事業:石巻専修大学震災報告書2編纂ワーキンググループ」
理工学部	山本 憲一	・「研究プロジェクト(地域復興)」の研究課題「東日本大震災の津波による自動車災害の発生状況調査(H23年7月～H24年3月)」 ・「自動車水没事故の解析」(H24年4月～H25年3月) ・大学改革推進等補助金(大学における地域復興のためのセンター的機能整備事業)(H24年～) ・津波による自動車災害を踏まえた安全な自動車並びに自動車利用方法の開発(H24年4月～)
理工学部	若月 昇	・本学復興共生プロジェクト担当教員(H23年4月～) ・学都仙台コンソーシアム復興大学運営委員、石巻センター長(H23年12月～) ・石巻市復興協働プロジェクト、アドバイザー(H23年12月～) ・東北都市学会石巻支部長(H23年3月～)

1 大学の動き
(平成23年4月～)

2 震災に関する研究活動

3 大学施設の地域催事への提供

4 震災の影響に関する全学調査結果

5 防災・減災のための備蓄品調達状況

6 震災に関する取り組み
「インスピ」による紹介

7 震災2年目における委員会等の活動と本学の対応

8 阪神・東海に学ぶ

9 学内に結成されたサークルの活動

震災に関する研究活動

所属	氏名	内 容
経営学部	阿部 康一	・PTSD(心的外傷後症候群)に悩む市民の方々(一部児童)への助言、アドバイス等のカウンセリング ・昨年度より、石巻赤十字看護学校にて“災害と精神障害”についての講義。(講義名「行動科学」の中で)
経営学部	石原 慎士	<講演等> ・日本地域政策学会第10回全国研究大会で講演「演題:東日本大震災で被災した水産加工業界の復旧・復興に向けてー被災地宮城県石巻市におけるソリューション開発の試みー」(H23年7月) ・中小企業大学校瀬戸校トップセミナーで講演「演題:震災を乗り越え、新たな一歩へー宮城県石巻市における復興支援ソリューション開発の試みー」(H23年11月) ・高崎市高崎市域震災復興支援委員会で講演「演題:宮城県石巻市における復興ソリューション開発の試み」(H24年1月) ・宮城県第2回商品開発・販路セミナーで講演「演題:みやぎの食関連企業が再建するためにー産学連携による水産復興ソリューションの開発ー」(H24年2月) ・専修大学緑鳳学会で講演「演題:宮城県の水産都市における産業復興ソリューション開発の試みー事業継続・販路開拓・人材育成に向けた活動を中心にー」(H24年10月) <その他> ・石巻市・気仙沼市の被災企業(水産加工業)に対する事業継続のための支援活動(代替生産による事業継続) ・被災企業の製品開発に関する支援活動
経営学部	伊藤 宣生	・石巻専修大学地域活性化研究会を主宰し、東日本大震災からの復旧、復興に資するプロジェクトを立ち上げている。
経営学部	岡野 知子	・『大震災を風化させない会計研究者からの提言』八田進二編著(H24年)
経営学部	木村 民男	・「地域コミュニティ再生に果たす大学の役割」ー仮設住宅入居者のコミュニティの再生を中心として(研究)石巻専修大学周辺の仮設住宅に入居している人々の自立心を喚起し、コミュニティを再生する試み。 ・8月に大学や学生の力を借りながら、自分達の力で「ミニ交流会」をもち、11月には自主的な「芋煮会」を開催することとなった。「石巻専修大学周辺の仮設住宅の小・中学生の学習支援事業」(社会貢献)夏期休業中の4日間、石巻専修大学を会場に、周辺仮設住宅の小・中学生に対して、学生の力を借りて学習支援を行った。
経営学部	佐々木 万亀夫	・「石巻専修大学・東日本大震災デジタルアーカイブ制作のための調査研究」(H23年7月～H24年3月) ・復興支援いしのみまきNPOセンター代表理事として(社会貢献)
経営学部	清水 義春	・登米市博覧会出展(登米の新しい観光の提案)「研究・社会貢献」(H23年10月) ・宮城県首都圏キャラバン「社会貢献」(H23年10月) ・北海道奥尻島調査(研究)(H24年1月) ・石巻港大型客船機構の歓迎イベント事業「社会貢献」(H24年9月) ・札幌モエレ沼公園調査「研究」(H24年10月)
経営学部	庄子 真岐	・「東日本大震災後の観光地の現状と復興に関する研究」(研究)(H24年4月～) ・「石巻観光復興ユースチャレンジ事業」住友商事東日本再生ユースチャレンジ・プログラム(社会貢献)(H24年4月～)
経営学部	杉田 博	・経営学部・地域活性化研究会における各プロジェクトの促進(社会貢献)
経営学部	竹中 徹	・平成23年度IK地域研究助成による研究(H23年7月1日～H24年3月31日)
経営学部	田村 真介	・中小企業のための管理会計セミナー(社会貢献)(H24年11月)
経営学部	舛井 道晴	・平成23年度 石巻専修大学 共創研究センター研究プロジェクト「石巻ボランティア情報センターの設立・運営による石巻市復興支援の実証的研究」
経営学部	益満 環	・内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」(H23年4月～) ・サプライチェーンリスクマネジメントに関する研究(研究)(H23年7月～) ・3Dプリンタを活用した石巻市沿岸部の復元立体模型の製作に関する研究(研究)(H23年7月～) ・事業継続計画(BCP)に関する研究(研究)(H23年10月～)
経営学部	松崎 俊之	・東京藝術大学美学・藝術論研究会シンポジウム「3.11をめぐる芸術的営為と感性」においてパネリストとして報告「演題:3.11をめぐる断想、あるいは感性の限界について」(H24年1月) ・下記の論文を刊行 「「3.11」をめぐる断想、あるいは感性論としての美学の限界について」『平成23年 実践女子学園教育研究振興基金助成金による研究プロジェクト報告書「大震災以降の新しい感性論の構築に関する研究」』7-20頁(H24年3月)
経営学部	丸岡 泰	・「ボランティア・ツーリズム」(H23年4月～) ・震災後の被災地の観光の可能性(H23年4月～) ・「防災研修」(H23年4月～)

所属	氏名	内容
経営学部	山崎 泰央	-ゼミナールによる復興支援活動(教育・社会貢献)- *平成23年 ・「仮設住宅生活実態調査」 ・仮設住宅における、移動支援、収入支援、子ども支援ボランティアの実施 ・神戸学院大学の共同ボランティア 「石巻市南境地区周辺マップ」制作 *平成24年 ・子どもの遊び場づくり「にこにこプレイパーク」、復興商品の販売支援、 ・東北大学主催「グローバルセミナー東北『震災復興と生態適応』」にて仮設住宅支援活動を報告 ・「震災後の生活と復興に関するアンケート調査」 ・他大学ボランティアとの交流 (目白大学、龍谷大学、立命館大学、石川シティカレッジ交流会) ・神戸学院大学の共同ボランティア スマイル運動会の開催、「石巻市南境地区周辺マップ」制作 ・ゼミナール阪神淡路スタディツアー ・社会人基礎力育成GP北海道・東北予選大会参加、準優秀賞受賞 -その他の復興支援活動- *平成23年 ・被災地視察の同行案内(愛知大学、松山大学、信金中金地域・中小企業研究所) ・宮城県建築住宅センター受託「石巻市被災企業調査」への協力(社会貢献)(6月) ・IK地域研究「石巻地区被災体験アーカイブ化と復興まちづくりに関する研究」(研究)(7月) ・まちづくり懇話会の実施(社会貢献・研究)(7月～11月) ・開成地区ボランティアの連絡会議「開成ネットワーク会議」参加(社会貢献)(10月～現在) ・日本家政学会東日本大震災生活研究プロジェクト研究(研究)(11月～現在) *平成24年 ・石巻スポーツ振興サポートセンター受託「石巻市応急仮設住宅等路線バス実態調査」協力(社会貢献)(16月) ・河北新報社「東日本大震災被災者アンケート調査」協力(社会貢献)(2月) ・「東北発未来塾」実施協力(社会貢献)(3月) ・復興支援型地域社会雇用創造事業石巻地区協議会の結成(社会貢献)(5月) ・同協議会主催「石巻地区合同説明会」の実施 全3回 ・女川高校「商品開発プロジェクト」に係る指導助言者(教育)(5月) ・東北ニュービジネス協議会・東北大学主催の「東北未来創造イニシアティブ」(復興支援型地域社会雇用創造事業)石巻コンペの実施(社会貢献)(6月) ・平成24年度「共創研究センタープロジェクト事業」サテライトキャンパス企画「遊びを通して地域がつながる～こどもの遊び場づくりと地域づくり」(6月) ・「こどものまち・いしのまき」実施協力(社会貢献)(10月) ・法政大学受託・農林水産省「平成24年度食料供給基地復興のためのイノベーション誘発型産業連鎖モデル策定推進事業」モデル策定検討委員会委員(研究)(10月) ・復興支援型地域社会雇用創造事業石巻地区協議会「復興起業家交流会」の実施(社会貢献) -講演等- ・地域活性学会第3回研究大会 シンポジウム「『広域巨大複合災害と地域活性』-いま地域で何をすべきか-」パネリスト(H23年7月) ・専修大学、毎日新聞社主催「地域復興への大学の挑戦～東日本大震災を乗り越えて～」事例報告(H24年3月) ・平成24年度石巻市社会福祉協議会福祉フォーラムパネリスト(H24年12月)

1 大学の動き
平成23年4月～

2 震災に関する研究活動

3 大学施設の地域催事への提供

4 震災の影響に関する全学調査結果

5 防災・減災のための備蓄品調達状況

6 震災に関する取り組み「インビュ」による紹介

7 震災2年目における委員会等の活動と本学の対応

8 阪神・東海に学ぶ

9 学内に結成されたボランティアサークルの活動

震災に関する研究活動

■活動内容2 震災に関連して行った、学内外における講演活動、著作、自治体等委員、学会役職等

所属	氏名	内容
理工学部	綾 皓二郎	<ul style="list-style-type: none"> ・2011 PC Conference 論文集pp.311-314 「巨大災害における地域の大学および通信メディア環境の役割と限界～「2011年東北地方太平洋沖地震」による被災から学ぶ～」(H23年8月) ・教育システム情報学会 ワークショップ 「ITシステムと防災・危機管理～石巻専修大学情報教育ネットワークシステムと東日本大震災の事例から～」(H23年8月) ・教育システム情報学会 ワークショップ 「3.11大地震に被災した大学教育のe-Learningによる授業補完への取り組み～石巻専修大学における試行報告～」(H23年9月) ・じっさよう情報教育資料 pp.1-7 (H24年2月) ・「災害時における支援拠点としての学校, および震災と原発事故から学ぶ情報教育の在り方」 ・共創研究センターシンポジウム 「石巻専修大学・東日本大震災デジタルアーカイブ制作のための調査研究」(H23年7月～H24年3月) ・みやぎ県民大学 石巻専修大学開放講座 「情報教育を考える～震災と原発事故から学んだこと～」(H24年7月) ・PC Conference イブニングトーク 「学校防災と被災後の学校教育の課題について考えよう」(H24年8月)
理工学部	太田 尚志	<ul style="list-style-type: none"> ・東北復興次世代エネルギー研究開発プロジェクト石巻専修大学グループ第1回ミニシンポジウムで講演「演題:微細藻培養研究のこれまでの経緯」(H24年11月8日)
理工学部	大谷 尚文	<ul style="list-style-type: none"> ・日本フランス語フランス文学会春季大会(於一橋大)のシンポジウム「今、フランス語フランス文学とは」(H23年5月) ・「フランス語フランス文学研究」No.100発行(H24年3月) ・日本フランス語フランス文学会春季大会被災した大学(石巻専修大学)の現状を報告した。『学会ニュース』第141号(H24年7月27日発行)で言及されている。(H24年6月)
理工学部	角田 出	<ul style="list-style-type: none"> ・復興「全国「塩」サミットin宮城塩釜。基調講演～ちよっと気になる塩物語～」(H23年9月)
理工学部	亀谷 敬	<ul style="list-style-type: none"> ・日立製作所を中心とした「日立グループ震災復興統括本部」の社外アドバイザー
理工学部	川村 暁	<ul style="list-style-type: none"> ・教育システム情報学会 第36回全国大会 ワークショップ 3「災害時危機管理と期待される人材像」 ・教育システム情報学会 ワークショップ 「ITシステムと防災・危機管理～石巻専修大学情報教育ネットワークシステムと東日本大震災の事例から～」渡辺創(産業技術総合研究所), 綾皓二郎(石巻専修大学), 川村暁(石巻専修大学), 西之園晴夫(学習開発研究所) (H23年8月) ・教育システム情報学会 第36回全国大会 ・公開フォーラム2:「大規模災害発生にe-Learningは何か出来るか」 ・教育システム情報学会 ワークショップ 「3.11大地震に被災した大学教育のe-Learningによる授業補完への取り組み～石巻専修大学における試行報告～」(H23年9月) ・共創研究センターシンポジウム 「石巻専修大学・東日本大震災デジタルアーカイブ制作のための調査研究」オーガナイザ 不破泰(信州大学), 小松川浩(千歳科学技術大学) 登壇者 高橋浩太郎(文部科学省), 川村暁, 綾皓二郎(石巻専修大学), 山口亮介, 五月女雄一(ニフティ株式会社), 二木真明(住商情報システム株式会社) (H23年7月～H24年3月)
理工学部	工藤 すばる	<ul style="list-style-type: none"> ・第23回物理教育に関するシンポジウムで講演「科学の祭典石巻大会と理科教育」(石巻大会の震災の影響も報告) (H24年11月)
理工学部	坂田 隆	<ul style="list-style-type: none"> ・「座談会 復興へ、私学の心を一つに」坂田隆、小澤守、斎藤誠、齋藤潔、飯野正子 大学時報 No.338-339, 16-32, (H23年5月・6月) ・「『報恩奉仕』の精神で震災後の大学の一層の発展に向けて」坂田隆 時評2011年7月号 136-143 ・「オール専修の知と力と絆!」甘竹秀雄、坂田隆、伊東孝浩 AdonisNo. 56, 3-7, (H23年7月) ・「震災後の日本社会の再生と大学の役割-被災地における大学からの報告」坂田隆 ・私立大学連盟平成23年度学長会議第1回全体会議、大阪国際会議場(H23年7月) ・"Ishinomaki Senshu University after 11.03.2011" Takashi Sakata, Briefing on current developments and internationalization at Japanese universities with focus on changes after the earthquake, Botschaft der Bundesrepublik Deutschland Tokyo, (H23年7月) ・招待講演「現地からのメッセージ」坂田隆、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(平成21年度～25年度) (H23年10月) ・専修大学社会関係資本研究センターシンポジウム「復旧・復興・再生への"絆と連帯"」、専修大学(東京都千代田区)、「震災復興に果たす石巻専修大学の役割」坂田隆、龍谷大学東日本大震災復興支援フォーラム 「震災復興にはたす大学の役割」招待講演、龍谷大学(H23年7月)
理工学部	佐々木 洋	<ul style="list-style-type: none"> ・大学祭特別企画震災復興フォーラム「復興させてください!」佐々木洋研究室主催(H23年10月) ・広島大学シンポジウム、Post-disaster recovery plans in Miyagi, Japan: Reconstruction of macroalgae aquaculture and new development of microalgae production、佐々木洋、伊藤博(H23年11月)
理工学部	笹原 英史	<ul style="list-style-type: none"> ・石巻市地域福祉委員会会長(震災を受けて震災をふまえた地域福祉計画の策定に入る) (H23年1月～H24年2月)
理工学部	指方 研二	<ul style="list-style-type: none"> ・石巻専修大学の例 一体何が大学を守ったのか? 化学 Vol. 66 (1), 12-16(2011) (H23年) ・日本化学会東北支部、東北大学大学院理学研究科、国立大学協会共催、防災・日本再生シンポジウム 「東北地方の化学と教育3.11 から 189 日の歩み」 に於いて「東日本大震災における石巻専修大学の対応」と題して講演(H23年9月) ・日本化学会第92春季年会(平成24年) 日本化学会東日本大震災被災者支援委員会主催の企画 「3.11被災地の復興への歩み 一安全な教育・研究環境を求めて」 に於いて「東日本大震災における石巻専修大学の状況」と題して講演(H24年3月)
理工学部	鈴木 英勝	<ul style="list-style-type: none"> ・財団法人みやぎ産業科学振興基金研究奨励賞受賞。復興に寄与する海洋生物学に関連した業績により(H24年6月) ・財団法人仙台市産業振興事業団産学連携セミナー「演題:東日本大震災にも負けない海産物を作ろう」(H23年12月) ・日本水産学会で講演「演題:石巻湾におけるアカザラガイの天然採苗」(H24年9月)

所属	氏名	内容
理工学部	相馬 弘年	・共創研究センター長就任。平成24年3月、平成23年度[研究プロジェクト]シンポジウム-共生社会をめざして-センター長挨拶。(H23年4月~) ・IPマネジメントレビュー』5号(知的財産管理技能士センター機関誌)特別寄稿「東日本大震災後の被災地復興を支える知的財産」(H24年6月)
理工学部	高崎 みつる	・環境科学会「大地震被災地からの環境科学への期待」(H23年6月) ・関西学院大「除染と一次産業の復興」(H23年6月) ・北上川水系河川整備学識者懇談会、鳴瀬川水系河川整備学識者懇談会、三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等検討懇談会、宮城県沿岸域河口部・海岸施設復旧検討委員会 (H24年8月)
理工学部	高橋 智	・みやぎ県民大学講師(H24年7月) ・仙台二華中学校ワークショップ講師(H24年9月)
理工学部	玉置 仁	・「地震とそれに伴い発生した津波が藻場・干潟生態系に及ぼした影響」日本水環境学会誌(34巻(12)、400-404、2011)(H23年12月) ・「地震とそれとともない発生した津波が藻場・干潟生態系に及ぼした影響」日本水環境学会東北支部セミナーにて講演(H24年1月) ・「浅海域生態系が東日本大震災により受けたダメージとその回復に向けて」第46回日本水環境学会年会にて口頭発表 ・「浅海域生態系(藻場・干潟)が東日本大震災により受けたダメージとその回復に向けて」日本水環境学会震災対応活動報告書の提出(H24年6月) ・「浅海域生態系(藻場・干潟)が東日本大震災により受けたダメージとその回復に向けて」日本水環境学会市民セミナーにて講演(H24年8月)
理工学部	根本 智行	・三陸南沿岸・石巻海岸地区環境等検討懇談会委員(H24年3月~) ・平成23年度再生可能エネルギー事業のための緊急検討委託業務(宮城県石巻市)地域協議会委員(H24年3月~) ・平成24年度再生可能エネルギー事業のための緊急検討委託業務(宮城県石巻市)地域協議会委員(H24年4月~)
理工学部	羽田 紘一	・大学出版部協会営業部会地方研修会で講演「演題:3.11から現在に至るまで」(H23年11月) ・「震災からの図書館の復旧とその後の対応」東日本大震災石巻専修大学報告書PP.106-109。(H24年3月) ・東北地区大学図書館協議会誌第63号PP.34-35「3.11大震災から図書館の復旧と被災地図書館の使命」。(H24年4月) ・世界からのメッセージポスター展「大震災から未来へ」レポート。Exhibition of Message Posters from the Wood 2012 "From Great Earthquake to Re-Creation" Report 日本国際ポスター-美術館(大垣市) 発行「世界からのメッセージポスター-石巻展-被災地からのメッセージ」[Message from Ishinomaki with Gratitude for Tohoku Exhibition of Message Posters from the World 2012 PP.19-20.(H24年7月)
理工学部	廣瀬 裕作	・日本近代文学会 東北支部会報「石巻専修大学の震災対応等について」第44号(H24年4月27日)
理工学部	福島 美智子	・学内の放射能取扱者のための講習会において、福島原発事故以降の福島県および仙台市の放射能汚染状況についての講演を以下の講師に依頼 「放射能の基礎知識とその非日常から日常へ」東北大学電子光物理学研究センター准教授 大槻 勤(H23年6月30日) ・宮城県米谷工業高校での出前授業実施。放射能関連の講義を行った。(H23年10月21日) ・学内における放射能計測機器類の整備、およびそれらを使用した学内の空間放射線量の計測。さらに卒業研究のテーマとして学生の教育に取り入れた。(H24年4月~) ・学内の放射能取扱者のための講習会において、放射能についての基礎知識に関する講義を行う。題名「放射能と放射能計測」(H24年4月26日、6月14日) ・宮城県石巻地域およびその近隣の海洋生物、海水、河川水、植物を対象に環境放射能を計測、放射能の汚染状況をモニター。(H24年6月~) ・石巻信用金庫において「施設利用・農水産物放射能セミナー」第1回実施。題名「放射能汚染と食品の放射線測定について」講師:福島美智子(H24年7月4日) ・高大接続研究事業(専修大学北上高等学校)において放射能関連の講義を実施 「放射能を学ぶのに必要な化学」および「放射能と放射線を正しく知ろう」(H24年8月22日、29日) ・「施設利用・農水産物放射能セミナー」第2回実施。 題名「放射能ってなんだろう」講師:福島美智子(H24年10月11日) ・「施設利用・農水産物放射能セミナー」第3回を企画実施。 題名「放射線・放射能の基礎知識と環境に放出された放射能」講師:東北大学電子光物理学研究センター 准教授 大槻 勤(H24年10月18日)
理工学部	丸岡 章	・石巻市震災復興推進会議会長。次世代エネルギー研究開発プロジェクト参画機関代表
理工学部	宮 寄 厚	・日本菌学会東北支部会を福島県土湯温泉で開催(当時・支部会長)(H23年9月)
理工学部	望月 勝美	・大崎市で社会人向けに「未来社会のエネルギー」と題して講演をした。
理工学部	山内 武巳	・国際武道大学で講演 「災害時地域住民の拠点となった大学の経験から 防災拠点としての大学」(H23年10月)
理工学部	山崎 省一	・日本アスリート会議東北支部実行委員会委員(現在は副委員長)(H23年9月~) ・日本体育学会で講演「被災地における大学体育・スポーツの現状」(H23年9月) ・全国大学コンソーシアム第3分科会シンポジスト「被災地域における地元の学生活動とその支援」(H24年9月) ・スポーツコミッション研究会 講演「スポーツと観光」(H24年10月) ・いしかわ災害ボランティアさぎすなフォーラム 基調講演 「私に出来ること」(H24年11月)
理工学部	山崎 達也	・第25回日本吸着学会「特別セッション:放射性物質汚染と吸着」座長(H24年11月)
理工学部	リチャード・ハルバーシュタット	・著書「前を向いて、歩こう。」出版(サンマーク出版)(H23年10月) ・東海興業東北東興会青年部会研修会で講演「演題:震災と日本と私」(H23年9月) ・明星大学にて学生の前で体験談(2回)(H24年6月)

1 大学の動き
(平成23年4月~)

2 震災に関する
研究活動

3 大学施設の地域
催事への提供

4 震災の影響に関す
る全学調査結果

5 防災・減災のための
備品調達状況

6 震災に関する
取り組み
「インフォ」による紹介

7 震災2年目における
委員会等の活動と
本学の対応

8 阪神・東海に学ぶ

9 学内に結成された
サークルの活動

震災に関する研究活動

所属	氏名	内 容
理工学部	若月 昇	<ul style="list-style-type: none"> ・私立大学フォーラム「地域社会で大学ができること」講演及びパネル(関西大学)(H23年11月) ・ワイヤレステクノロジーパーク(パシフィコ横浜)(H23年7月) ・電子情報通信学会国際会議IS-EMD2011(秋田大)(H23年11月) ・学術振興会国際会議150委員会(千葉大)(H24年12月)
経営学部	石原 慎士	<ul style="list-style-type: none"> ・東松島市復興まちづくり計画有識者委員会委員就任(H23年6月) ・八戸インテリジェントプラザコーディネータ就任(H24年4月)
経営学部	大森 信治郎	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「震災復興の状況と観光」日本観光研究学会研究懇話会(H23年7月) ・コーディネーター「観光フォーラム」宮城県(H24年6月) ・講演「復興支援ツーリズムの可能性」東京大学東洋文化研究所・ASENT共催セミナー(H24年3月) ・「POST-DISASTER RECONSTRUCTION AND TOURISM」Japan Geoscience Union Meeting 2012(H24年5月) ・コラム「被災地における観光の展望」主催等:日本エコツーリズム協会(季刊ECOツーリズム)(H24年5月) ・講演「復興支援ツーリズムとまちづくり」宮城県教育委員会(H24年6月) ・講演「被災地の復興とツーリズムの展望」立命館大学人文科学研究所(H24年6月) ・学会発表「被災地の復興とツーリズムの展望」実践経営学会(H24年8月) ・講演「被災地の復興とツーリズム」明星大学文化観光論講義(H24年11月) ・論文「[復興ツーリズム]或いは「祈る旅」の提言-「ダーク・ツーリズム」という用語の使用をめぐる」観光研究 Vol.24, No.1(H24年9月) ・論文「東日本大震災後の復興初期の石巻圏への旅行振興-旅行実態と奥尻島の防災研修事例に基づく考察」観光研究 Vol. 24, No.1)(H24年9月) ・刊行予定 著書(共著)「東日本大震災の被災地とツーリズム」主催等:新曜社(ホスピタリティ入門)(H24年2月)
経営学部	岡野 知子	<ul style="list-style-type: none"> ・経営学部地域活性化委員会企業再生ワーキンググループ長
経営学部	木村 民男	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育ては自分育て」(鹿又保育所)講話(H23年6月) ・「親の後姿」(浦戸二小・浦戸中)講話(H24年7月) ・「志を持って生きる」(蛇田中学校)講話 ・「校長の要諦」(名取市立増田中学校)講話 ・「教師としての心構え」講話(H24年8月) ・「生きがいのある人生」(石巻中央公民館)講話(H24年9月)
経営学部	佐々木 万亀夫	<ul style="list-style-type: none"> ・石巻倫理法人会で講演 「演題:震災後における石巻専修大学の取り組みについて」(H24年2月) ・石巻市防災集団移転・災害公営住宅入居等運営検討会議委員就任(H24年11月)
経営学部	清水 義春	<ul style="list-style-type: none"> ・旧北上川水面利用者協議会 委員就任(H24年6月) ・いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会 委員就任(H24年7月)
経営学部	庄子 真岐	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎大学講義「東日本大震災からの復興」現場からの報告(H24年7月)
経営学部	杉田 博	<ul style="list-style-type: none"> ・日本マネジメント学会第64回全国大会特別プログラム報告「被災地における企業支援の一形態」(H23年11月) ・日本マネジメント学会第65回全国大会統一論題報告「被災地における中小企業の事業存続とネットワーク」(H24年6月) ・日本経営学会第86回大会東日本大震災プログラム報告「石巻は問う」(H24年9月) ・順天堂大学FD・教員セミナー講演「被災後の大学の社会貢献について」(H24年10月) ・専修大学社会知性フォーラム「被災地における経営と経営学」(H24年11月)
経営学部	竹中 徹	<ul style="list-style-type: none"> ・日本カーシェアリング協会顧問就任(H23年10月) ・日本カーシェアリング協会監事就任(H24年5月) ・石巻仮設住宅自治連合会幹事就任(H24年5月) ・内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」選考委員(H24年9月)
経営学部	益満 環	<ul style="list-style-type: none"> ・大学共同利用機関法人情報・システム研究機構新領域融合研究センター融合研究プロジェクト共同研究員(H24年10月) ・内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」社会インキュベーション事業選定委員会委員(H24年4月~H25年3月) ・石巻市水産加工業再生支援事業選定委員会委員(H24年10月~12月) ・石巻市都市再生整備計画事後評価委員(H24年2月) ・平成23年度次世代高信頼・省エネ型IT基盤技術開発・実証事業(経済産業省)震災復興・次世代東北ITコミュニティ創生プロジェクト「高度情報基盤研究会」委員(H23年11月~H24年3月) ・一般社団法人東北産業振興協会顧問。(H23年10月~) ・(論文)T.Masumitsu, "Temporary Survey of the IT Support Services for the Great East Japan Earthquake Suffered Companies", The Society of Business Administration Ishinomaki Senshu University (Ishinomaki Senshu University), Vol.23, No.2, pp.11-17.(H24年3月) ・(学会発表)T.Masumitsu and K.Yasuda, "Temporary Survey of the Support Service for the Great East Japan Earthquake Suffered Companies by IT Companies", 2011 Asian Conference of Management Science & Applications, Sanya, Hainan (Sanya Pearl River Garden Hotel), China. (H23年12月21日~23日) ・益満環「東日本大震災における石巻専修大学情報教育研究センターの被災・復旧状況と今後の課題」、『経営情報学会2011年秋季全国研究発表大会予稿集(愛媛大学)』(H23年10月) ・益満環、安田一彦「IT企業各社による東日本大震災被災企業向け支援サービスに関する緊急調査」、『経営情報学会2011年秋季全国研究発表大会予稿集(愛媛大学)』(H23年10月) ・第5回東北SaaS連合会・東日本大震災復興支援クラウドフォーラム合同会合(福島)講演「被災地の現状とクラウド導入における課題」、コラッセふくしま (H23年7月)

所属	氏名	内容
経営学部	丸岡 泰	<ul style="list-style-type: none"> ・(発行)ゼミミニコミ誌「石巻復興NEWS」発表(月刊WEB公開)(H23年8月～) ・(口頭)「復興における観光～一緒に考えましょう～」[石巻専修大学開放講座:復興の道標](H23年10月) ・(口頭)「石巻における映画作り・震災・観光」[石巻観光フォーラム](H23年11月) ・(口頭)「石巻圏における津波被害」[南国市防災フォーラム]高知県(H23年11月) ・(交流)日本計画行政学会社会貢献プラットフォーム(専修大学、東洋学園大学他)熟識カフェ[「ほえ～るカフェ」参加、平成24年6月、12月(H23年12月)] ・(研究ノート)「災害ボランティア・ツーリズムの中間組織の機能に関する一考察―東日本大震災後の石巻圏の経験から―」[石巻専修大学経営学研究](石巻専修大学経営学会、第23巻第1号、pp.15-40(H23年12月)) ・(口頭)「奥尻島防災研修事例の含意」[石巻地域観光復興シンポジウム](H24年1月) ・(講演録)「復興における観光～一緒に考えましょう～」大学開放センター編『平成23年度みやぎ県民大学・石巻専修大学開放講座「復興の道標」』(H24年3月) ・(口頭)「東日本大震災の被災地石巻圏における復興初期のボランティア・ツーリズムの円滑な実施のための条件の研究」(大森信治郎、庄子真岐と共同)「平成23年度石巻専修大学共創研究センターシンポジウム～共生社会をめざして～」(H24年3月) ・(学会)日本観光研究学会理事就任(H24年4月～) ・(講演)「東日本大震災後の石巻圏～防災・復興に生かす経験～」NPO法人オンザロード「石巻元気塾」(H24年6月) ・(論文)丸岡泰、清水義春、大森信治郎、庄子真岐「東日本大震災後の石巻圏への旅行振興―旅行実態と奥尻島の防災研修事例に基づく考察」『観光研究』(日本観光研究学会)vol.24, No.1(H24年7月) ・(lecture)“Tourism in the Ishinomaki Area After the Great Eastern Japan Earthquake,” Wenzhou University summer program at Ishinomaki Senshu University)(H24年8月1日) ・(イベント)豪華客船「にっぽん丸」[「ぼしふいっくびいなす」石巻港寄港の歓迎(清水義春特命教授、庄子真岐助教ゼミ学生と共同)(H24年9月)] ・(lecture)“Tourism and Disaster Preparation Training in the Ishinomaki Area After the Great Eastern Japan Earthquake” JOCA-ASEAN program (@Ishinomaki Senshu University)(H24年10月7日) ・(口頭)「復興ツーリズムの可能性」第3回計画行政復興フォーラム(日本計画行政学会)(H24年10月) ・(学会)日本観光研究学会第27回全国大会/イベント「復興交流フォーラムin石巻」全国大会実行委員会副委員長(H24年11月30日～12月2日) ・(口頭)「東日本大震災前後の石巻圏の産業」日本計画行政学会ミニ講義(東洋学園大学)東京都(H24年12月)
経営学部	湊 信吾	<ul style="list-style-type: none"> ・NIIの先導的研究開発委員会(クライシスに強い社会・生活空間の創成)委員 ・NUA学術情報システム研究会(NECユーザー会)で「東日本大震災による影響と課題」と題して発表(H23年6月) ・TOPIC総会で被災時のコンピュータネットワークの状況について発表(H23年6月) ・情報通信学会において第28回情報通信学会大会での基調シンポジウム「震災と情報通信」のパネリストとして参加(H23年7月) ・NIIにてICTSFC 学術情報サービス連携コンソーシアム講演会において「東日本大震災による情報システムの影響と課題と安否確認クラウドの提案」と題して発表(H23年6月) ・被災時の教育研究用コンピュータシステムの状況と大学の役割について「石巻専修大学」、JUICE Journal (私立大学情報教育協会から依頼)。2011年度No.4 大学教育と情報、PP. 5-7.
経営学部	山崎 泰央	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性学会第3回研究大会 シンポジウム「『広域巨大複合災害と地域活性』―いま地域で何をすべきか―」パネリスト 李東勲・山崎泰央「石巻市の現状と震災復興の視点」『地域再生への道 地域活性学会第3回研究大会(埼玉)論文集』、75頁(H23年7月) ・松山大学経済学部学術講演会「被災地における大学・学生のできること―大災害に備えて～大学の危機管理を考える―」(H23年10月) ・第3回松山Luna Society「石巻における震災対応の反省と教訓」 ・山崎泰央「被災地石巻における仮設住宅支援活動を通じた実践的な大学教育の試み」『地域活性研究』、第3号、307-315頁。(H24年3月) ・資料「石巻市開成・南境地区仮設住宅実態調査報告書」『石巻専修大学経営学研究』 ・「被災地における大学の役割とは」松山大学地域研究ジャーナル第22号 ・本荘高校「大学の先生を囲む会」にて「学生の知恵とアイデアを生かせ!～大災害と企業家教育～」を講義(H24年7月) ・温州大学短期留学生に「学生の知恵とアイデアを生かせ!～大災害と企業家教育～」を講義(H24年8月) ・平成24年度食料供給基地復興のためのイノベーション誘発型産業連鎖モデル策定推進事業モデル策定検討委員会委員(H24年11月) ・日本ベンチャー学会研究報告「被災地における企業家教育」(『日本ベンチャー学会第15回全国大会報告要旨集』、68-71頁)(H24年11月) ・宮城県教育委員会指定事業「魅力ある県立高校づくり支援事業」講師(H24年12月) ・平成24年度石巻市社会福祉協議会福祉フォーラムパネリスト

1 大学の動き
平成23年4月～

2 震災に関する研究活動

3 大学施設の地域催事への提供

4 震災の影響に関する全学調査結果

5 防災・減災のための備蓄品調達状況

6 震災に関する取り組み
「インスピ」による紹介

7 震災2年目における委員会等の活動と対応

8 阪神・東海に学ぶ

9 学内に結成されたサークルの活動